

黒部川上流を次々と襲う被害に、不安は時間を追うごとに拡大していった。



黒部川第2発電所引込線より猫又方面



黒部峡谷鉄道黒川引込み線被災状況



黒部峡谷作業員宿舎の被災状況



黒部川管理用道路

7月の集中豪雨で、もっとも大きな被害を受けた黒部峡谷の猫又谷では、大量の土砂と水が流出、峡谷鉄道が分断され不通となったほか、増水で猫又谷落合の関電工事用合宿所が浸水するなど、黒部川上流全体の工事関係者等92人が孤立した。孤立した作業員の救出も視界不良などで難航し、不安も時間を追うごとに拡大、豪雨災害の恐怖を改めて思い知らされることになった。

関電合宿所が浸水



黒部峡谷の猫又谷で、7月の集中豪雨で、大量の土砂と水が流出、峡谷鉄道が分断され不通となったほか、増水で猫又谷落合の関電工事用合宿所が浸水するなど、黒部川上流全体の工事関係者等92人が孤立した。孤立した作業員の救出も視界不良などで難航し、不安も時間を追うごとに拡大、豪雨災害の恐怖を改めて思い知らされることになった。

黒部峡谷猫又

県警へりに救助要請

2階に避難、電話不通

大雨 県内をのみ込む

峡谷鉄道見通し立たず

観光に発電に痛手
 観光客の予約客連絡を急ぐ



黒部川第2発電所付近

